

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開 催 日 令和3年7月7日(水) 第1委員会室
2. 出席委員 桂藤和夫委員長 吉川遂也副委員長 横路政之 堀井秀昭 政野太 五島誠
松本みのり
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 依啓介議会事務局議事調査係長
5. 説明員 なし
6. 委員外議員 なし
7. 傍聴者 2名(うち議員 前田智永)
8. 会議に付した事件
 - 1 所管事務調査について
 - (1) かんぼの郷庄原の施設譲渡について
 - (2) 第2期庄原市地域情報化計画について
 - (3) 観光振興におけるJR芸備線について
 - (4) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策について

午後1時30分 開 議

○桂藤和夫委員長 ただいまから企画建設常任委員会を始めたいと思います。傍聴、録音、写真撮影を許可いたしております。直ちに協議事項に入りたいと思います。本日は先般決めていただきました所管事務調査につきまして、どのように進めていくかという議論をさせていただきながら、今後をどう展開するかを諮ってみたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

1 所管事務調査について

(1) かんぼの郷庄原の施設譲渡について

○桂藤和夫委員長 まず、1点目でございますけれども、かんぼの郷庄原の施設譲渡について。現状では、市が買うという方針を立てまして、いよいよ今月、日本郵政へ正式に申し込みして、それから条件闘争等があつて、9月の議会で予算案なりが出てくる予定でございますので、それにつきまして皆さんの御意見を承って、今後どのように進めていけばいいのかということを議論したい。意見のある方は挙手の上、発言をしていただきたい。五島委員。

○五島誠委員 議員全員協議会の中で、最終的な方針が示されたのですけれども、そこに至る過程のところとか、我々としては知っておく必要があるのかなど。それこそ市民の方や団体の方に意見を聴取されて、それがどう反映されているのかということも踏まえて、話を聞いてみたほうがいいのかと個人的には思います。

○松本みのり委員 質問をさせていただいたり、提案させていただいたのですけれども、それに対しての納得できる回答がいただけたかということ、そうではなくて、その中で、市は取得が最善という判断

をされたということなので、もう一度、どう最善であって、今後、市が取得した場合の経営をどのように考えられているのか、しっかりお話を伺いたと思います。

- 吉川遂也副委員長 取得後の活用方法であるとか、そういったものの例えば提言であるとか、アイデアを出すとかいうようなことが可能なかどうか。この委員会でそういう提言ができるのかどうかよくわからないのですけれども、そういったところを出してもいいのかなと思います。
- 横路政之委員 取得の価格。どのように考えているのか。手法。具体的に委員会で聞けば聞けるのかどうかはわからないのだが。市民の皆さんが関心があるのは、取得価格がどのぐらいになってくるのかと。後のことは、いままで説明があった以上のことは出てこないのかなと思いますが。
- 桂藤和夫委員長 いろんな意見が出ましたけれども、一度、企画課に来ていただいて、経緯なり、市民の意見の反映についてとか、いろんな取得後の方向性、取得価格などについて聞いたかどうかという部分と、委員会として取得後の方向について提言とかアイデアを出すことが可能なかどうかということも含めて、一度その辺のところを担当課をお呼びして、いろいろ議論してみたらどうかかなと思いますけれども、いかがなものでしょうか。そういう方向で、かんぼの郷庄原の施設譲渡につきましては、今後展開をして、9月に恐らく議案として予算案が出てきますので、それまでにしっかりとした委員会としての思いをぶつけていきたいと思います。横路委員。
- 横路政之委員 市民意見の集約ができた段階ころがいいのではないかな。今聞いても同じことの繰り返しになる。
- 桂藤和夫委員長 状況を踏まえて。その辺を担当課と調整をして、また皆さんに日程をとって集まっていたきたいと思います。

(2) 第2期庄原市地域情報化計画について

- 桂藤和夫委員長 それでは2点目に移ります。第2期庄原市地域情報化計画についてでございますけれども、この件についてどのように進めるべきか。まずは提案されました五島委員から何か思いがあれば教えてください。
- 五島誠委員 国がデジタル庁を9月1日創設を目指して動いている以上、そこでどう地方自治体がかかわって、この地域情報化計画も含めて、変わるというか、一元化のことであったりとか、まず、情報収集をしないと、また庄原市は置いて行かれるばかりなので、このタイトルにはしてますけれど、これに絡めて学習を深めるしか手がないのかなと思っている。
- 横路政之委員 情報化計画という分厚い冊子を勉強していくということですか。
- 五島誠委員 あれも、もちろんそれぞれ勉強しないといけないと思うのですが、国の動向とか、社会の情勢とかによってかなり左右されるので、そこらをまず踏まえておかないといけないかなと個人的には思います。
- 横路政之委員 これについて、いろいろな情報を収集して、そこから先、委員会としてどうしていくか。
- 桂藤和夫委員長 情報収集をするということですが、方向性として市内でするのか、どこかへ出かけて行って、ヒアリングというような形にするのか。コロナでなかなか出るのは難しいかもしれませんが、どのように思われますか。

- 五島誠委員　　できないこともないとは思いますが、今いろいろ探せば、オンラインなどでも、政府の関係される方とか、そういったところともつながることができると思いますので、特に国もこういった地方自治体とやはり話をしたいというか、そこの連携はもちろん大切なことなので、そこを重要視されている向きもあるようなので、探せば全然できると思うので、調整いただければいいかと。
- 桂藤和夫委員長　　オンラインで情報収集なり、研修をしたらどうかという御意見ですが、他に御意見があれば。副委員長。
- 吉川遂也副委員長　　地域情報化計画というのは、進める方向では非常に賛成するところであるのですが、一方でインターネットに接続されてない家庭もかなりまだあるというような状況。特に庄原市は中山間地域における情報格差というか、デジタルデバイドといわれるような状況があるのは、多分、国としてはそんなに想定されていないところかもしれないし、そういったところは多分先進的な地域になると思うので、そういった方向からも、いかにその情報発信というか、オンライン化するというところについてのメリットとデメリットを精査して、デジタルに疎い存在の方にどうコミットするかというところの研究も必要なのではないかなと思います。
- 桂藤和夫委員長　　他にありませんか。ないようでしたらそういうような方向でいろいろ研究なり調査してみたいとは思っています。五島委員。
- 五島誠委員　　かんぼと同じ企画課なので、もし議論ができることがあれば一緒に。
- 桂藤和夫委員長　　わかりました。委員長自身があまり情報に詳しくないものですから、少し不安な面もありますけれども努力してみたいと思います。

(3) 観光振興におけるJR芸備線について

- 桂藤和夫委員長　　次、3点目でございます。観光振興におけるJR芸備線についてということで、これは堀井委員から提案がございました。何か思いがあれば御発言いただければと思います。
- 堀井秀昭委員　　ここにきて急に芸備線のことについて、JR西日本の広島から来訪があったりして、何となく慌ただしい感じがしてきました。この芸備線が県北にとっては、交通機関としては大動脈。これをどのように今後考えていくかということは非常に重要な課題であろうと思う。観光振興の分野だけでなく、通学通勤を含めた住民の移動の足としての機能を、自分自身がほとんど汽車に乗らないのに言えないのだけれど、利用促進を図るためにダイヤ改正であるとか、いろんな要望をJRへあげていくことも必要なのではないか。最終的には、どのような対応を、庄原、新見市もそうですけれど、JR芸備線の沿線の市町が共同してどのような行動をとっていくことが存続へ向けて確固たるものになっていくのかということの検討を重ねて、実際にそういった取り組みを検討してみる必要があるのではないかと思います。
- 桂藤和夫委員長　　どのように進めていくか。第一歩をどうするかというようなことを御議論いただければと思うのですが。政野委員。
- 政野太委員　　教育民生ではあがっていないのですか。
- 俵啓介議会事務局議事調査係長　　所管事務調査にあがっていません。
- 松本みのり委員　　かんぼにしても芸備線にしても、やはりあったらいいなだけでは残せない部分があるべく大きくて、実際に芸備線の維持管理費にどのぐらいかけられていて、今、収入がどのくらいなの

かとか、そういう数字の部分も知っていく必要があるかなと思っております。

○政野太委員 何で先ほど教育民生でと言ったのは、ここはあくまで企画建設常任委員会で、堀井委員が言われた最終的な思いはそれでいいと思うのですが、その部分を委員会としてどのように整理していくか。今回うちは観光振興におけるJR芸備線という限定したものを継続調査にあげているわけなので、もう少し絞り込んでいかないといけないのでは思うのです。最終的な思いはわかるのですけれど。あえてこの中で観光振興におけるJR芸備線についてということであるならば、実際に観光として使われていると思われる備北交通さんであるとか、観光DMOさんがどのように芸備線の観光について考えていらっしゃるのか。そういうことについて意見を伺うということも1つではないかと思えます。

○五島誠委員 観光振興におけるなので、我々も観光利用するつもりで、どこか目的地を決めて、それによって芸備線で行けるものなのか。帰りは芸備線は使えないから、違う公共交通を使うのか。そういったことを計画をする段階から、少しずつ考えて実際に乗ってみるというところは、ぜひともやったほうがいいだろうと。後は、先ほどあったように観光関係団体と意見交換をさせていただくのもそうですし、それから先ほど松本委員もおっしゃったけれど、JRの方とも当然話はできるものならしないと話にならないところもあるかと思えます。その際に例えば、教育民生常任委員会の方にも声掛けをさせていただいてやるという方法もできなくはないと思うので、あまり委員会ごとの縄張り争いみたいなところを意識し過ぎると議論が停滞するような気もするので、そのあたりは同じ議会の中なので、うまく協力できるところは協力してやればよいのではないですか。

○松本みのり委員 ぜひ皆さんと一緒に芸備線に乗りたいと思いますけれども、実は2日ほど前に庄原駅から備後落合まで行ってきました。1時38分発で40分かけて行ってきたのですが、乗客8人ぐらい乗っていらっちゃって、うち2人ぐらいが高校生で、残りはほとんど鉄道ファンというか、観光客の方が多いような状態でした。知らずに乗ったのですが、ちょうどその便は備後落合駅で3台が落ち合う便だったということで、降りると全部の便が着くと30人ぐらいお客さんがいらっちゃってという状態でした。ただ、沿線に関しては、庄原市全体そうですけれども、草刈りの手が追いつかない。20年30年前はかなり美しかっただろうなと想像しながら乗らせていただいて、窓にも葉が当たってなでながら行くような状態で、この管理をどうしていくのかな、誰がこれを担っていくかなということを考えながら乗らせていただいたので、また皆さんとも意見交換できたらと思っております。

○横路政之委員 教育民生も同じような調査項目が出ているのか。出ているのなら一緒に合同調査という手もある。

○政野太委員 芸備線に乗るのもいいことだと思うので、それはそれとして、やはり所管事務調査、所管ですから、そこは委員長同士で調整はしっかりしてもらわないと、企画建設常任委員会からの結論ということで積み上げていかないといけないわけですから、そのあたりの調整をしてもらってもいいのではないかと。

○桂藤和夫委員長 林委員長と調整してみます。乗車体験をしようということで目的地をどこにするか、ある程度決めておいたほうがいいのかと。計画を組むのに。皆さんのこのあたりがよいのではないかと。という意見があれば、それに沿ったような形で計画を。

○政野太委員 設定として、他市から観光に来ることを設定するのか、こちらから出ていくことにするのか、いろいろあると思うのですが、想定するならば、どちらがよいのですか。

- 吉川遂也副委員長 東城落合間が全国的にも最も乗車率が低い。しかも10万円稼ぐのに100円しかもうからないというような施設だったと思う。そこがたぶん1番残すので厳しい区間というような可能性もありますが、一方ではその区間が車窓としては非常に魅力があると。よそから来られる観光の方のそういう意見もあるので、そういう意味では観光活用という車窓からの風景というものを非常に売りにできるのではないかなと個人的には思っているのです。東城を目的にするか、東城からこちらに来るのを目的にするかは別として、そこに乗ってみるとというのは1つの手かなと思います。
- 桂藤和夫委員長 備後落合東城間がどうだろうかという御意見が出ました。
- 政野太委員 反対ではないですが、あえて言うておきますけれども、この委員会全員で乗る意義をしっかり決めてから乗らないといけないと思いますので、しっかり練ってもらいたいと思います。ただ僕たちが観光になってはいけません。
- 堀井秀昭委員 現実には皆さんが思われているのと同じ。だけど、お客が少ないから便数が減る。便数が減れば、ますます不便になるからますます乗らない。なぜ、観光振興と頭につけたかという、そこでしか芸備線維持の思いというか、芸備線を残していく手段は、日常生活交通機関としてだけでは、もう無理だと思う。どういった形で観光振興へ向けて鉄道の旅を組み合わせることができるかというようなことをDMOといろいろお話をするのが1番いいかもしれない。まずそれをやってみたら。
- 桂藤和夫委員長 DMOさんとか備北交通さんへも声をかけてみて、一度そういう意見聴取を企画させていただいて、それを踏まえてその次をどうするか。乗車するのもしないのかということも展開していけばどうかと。そういう方向でよろしいでしょうか。まずDMOさん、備北交通さんに芸備線に対する思いを聞いて、観光振興の部分を含めて意見聴取をする機会を設けて、その次の展開を図っていこうと思います。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策について

- 桂藤和夫委員長 それでは最後の項目ですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済対策について、この件についてどのように取り扱ってほしいのか、御意見を賜りたいと思います。副委員長。
- 吉川遂也副委員長 まず状況の分析、商工関係、飲食店関係で出ている現在の補助金が順調に申請ができていのかどうかも含めて、担当課に報告を求めるといった方がいいのではないのでしょうか。
- 桂藤和夫委員長 他にありませんか。それでは状況分析等について担当課をお呼びして、いろんな議論をしながら、今後の庄原市の経済対策について考えていくという方向でよろしいでしょうか。ないようでしたら、そのような方向で進めていきたいと思います。
-
- 桂藤和夫委員長 その他の項目で何かあれば。また、次の委員会をどうするか。担当課との協議を踏まえて日程を組ませていただいているのか。五島委員。
- 五島誠委員 それぞれ相手方があるところがスタートになっているので、そのあたりをまずあたっていただきながら日程を組んでいただきたい。なので、委員長、副委員長のところで調整をお願いできれば。
- 桂藤和夫委員長 日程調整につきましては担当課もごさいますので、調整しながら皆さんの予定と勘案をしながら進めてまいりたいと思います。五島委員。

- 五島誠委員　　何もなしでは難しいだろうと思うので、委員の今月中の予定というか、委員会が終わった後でもいいのですが、候補日がある程度いくつかをつくっておいて、相手方に聞かれたほうが。
- 桂藤和夫委員長　　そういう意見が出ましたので、その辺も含めまして調整して進めてまいりたいと思います。以上で企画建設常任委員会を終わらせていただきます。

午後2時00分　散　会

庄原市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委員長